

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	線維骨性病変の遺伝子解析に基づく病態解明 [倫理審査受付番号：第 4252 号]
研究責任者氏名 機関長名	野口一馬 学長 野口光一
研究期間	研究実施許可日 2022 年 12 月 8 日～ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：線維性異形成症・骨形成繊維腫・骨性異形成症 / 診療科名等： 歯科口腔外科・形成外科
	受診日：西暦 2000 年 1 月 1 日～ 実施許可日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 カルテ情報 アンケート その他（ CT 画像 ）
研究目的・意義	線維骨性病変とは顎骨にセメント質様あるいは骨様の硬組織を伴った線維性結合組織が正常骨組織を置換して増生する良性腫瘍および腫瘍様病変を指し、具体的には線維性異形成症・骨形成繊維腫・骨性異形成症の 3 つが知られています。これらの病気はある遺伝子(GNAS1)に異常が起こり、骨の成長が阻害されて骨の変形を来します。この遺伝子の異常は病気になった細胞だけで起こっているので、遺伝する心配はありません。正常の骨の細胞（骨細胞）は、腎臓に作用して血液のリンの濃度を下げるホルモン（線維芽細胞増殖因子 23：FGF23）を作っています。最近の研究では線維性異形成症では FGF23 がたくさん作られて血液のリンの濃度が下がり、骨が柔らかくなることがわかりました。しかし、顎骨にできるこれらの病気でも FGF23 がたくさん作られて、血液のリンの濃度を下げるとかは明らかになっていません。今回の研究では、顕微鏡で調べる検査（病理検査）を行った線維骨性病変の患者様の検体を利用させていただき、GNAS1 や FGF23 に関係するタンパク質の存在を顕微鏡で調べて、この病気の特徴を理解することを目標としています。この研究の成果は、顎の

	骨にできた線維骨性病変の治療法の改善・開発に貢献できると期待できます。
研究の方法	調査の対象となる方は 2000 年 1 月 1 日から実施許可日までに線維骨性病変（線維性異形成症・骨形成繊維腫・骨性異形成症）と診断を受けた患者さんです。いずれも顎の骨にできた病変で、患者さんから手術によって切除された病変部は当院の病院病理部において病変の種類を診断するために顕微鏡で調べる検査（病理検査）が行われました。今回の研究では、その時の余剰検体より、スライドガラスに貼り付けた厚さ 4 μ m の標本を作成して GNAS1 と FGF23 に関係するタンパク質の存在を顕微鏡で解析します。本研究で用いる臨床情報は年齢・性別・病変の部位・手術日・手術内容・X 線及び CT 写真です。この研究にこれから参加される方は手術病変からの患者様の遺伝子解析を含みます。
外部への試料・情報の提供	共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各機関の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	代表研究機関 兵庫医科大学 医学部 歯科口腔外科学講座 同 形成外科学講座 共同研究機関 広島大学 大学院医系科学研究科 口腔腫瘍制御学 広島大学病院 顎・口腔外科
個人情報の取扱い	収集した試料・情報は、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、病理検査を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。また得られた解析結果は共同研究機関である広島大学と共有いたします。
本研究に関する連絡先	兵庫医科大学 医学部 歯科口腔外科学講座 担当者氏名：野口一馬 [電話]（平日 9～16 時）0798 - 45 - 6670 （上記時間以外）0798 - 45 - 6111（代表）